



生徒指導だより



令和5年11月8日
岐阜北高等学校生徒指導部

ATTENTION



学外・公共の場におけるマナーについて

1. 岐阜北高校の学生であるという自覚を持って、自分たちの言動を今一度、顧みてください

生徒指導部からの重要なお知らせです。度々このような注意喚起を Classi や生徒指導機関紙 Kashiwa を通じて発信しておりますが、近隣住民の方々から、北高生のマナーについての苦情が多数寄せられており、悲しきかな警察に通報されるケースも発生しています。

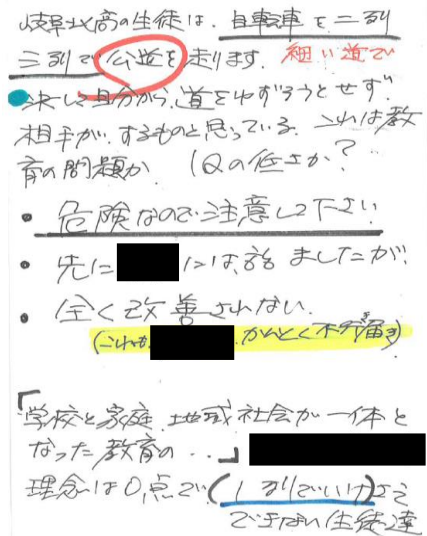
学校は地域社会との共存なくしては成り立ちません。歩行者も、車も、自転車も、ルールを守ることによって安全が成り立っています。事故は被害者だけでなく、加害者も不幸になってしまうからこそ、絶対に起こしてはいけません。

また、本校生徒の言動は非常に目に留まりやすくなっており、以下に該当する行為やマナー違反が度々目撃され、近隣の方々には不快な思いや不便さ、憤りを感じておられます。

《実際の苦情内容の例》

- ・自転車で、話しながら二列、三列の並走運転。
- ・安心安全で歩けるはずの点字ブロック上を、スマホを見ながら歩く、あるいは、自転車で走行している。
- ・道幅広がって歩く、人が来ても避けなくてぶつかる等の歩行マナーの悪さ。
- ・注意しても無視・逆ギレ・悪態をつく・嘲笑する等の反応。
- ・特に雨天時の朝、自家用車が生徒を送ってきて自宅前で下車し、学校へ登校していく。ドアの開閉音が騒音になっている。
- ・公共交通機関での迷惑行為 など

※右は、本校に郵送で届いたご意見です(個人名や不適切だと思われる箇所は黒塗り)。



自分が逆の立場で、上記の言動により迷惑を被る、不快な思いをする、もしくは生活が脅かされるとしたらどう感じますか？ マナーを守っている生徒も、マナーを逸脱している生徒も同じ「岐阜北高生」です。一部の生徒のために本校生徒全体の品位が疑われかねませんので、北高生であると同時に地域社会を構成している一員であるという責任と実感を持ち、良識ある行動を改めてお願いします。「自分は関係ない」「他の人もやっているから」ではなく、お互いに注意し合えるようにしましょう。

地域には、様々な年齢の方、傷病や障がいをお持ちの方、深夜業務に従事されている方などがおられ、様々な方々で社会は構成されています。配慮と思いやりを持った行動を切に願います。特に登校時と下校時の時間帯における大声や騒音に対する厳しい苦情もあります。無用なトラブルに発展させないためにもくれぐれもご注意ください。

2. 大切にしたい「まずは自分が行う」ということ

見た目や雰囲気だけで判断していると、本当に大切なものが見えないときがあります。人は目に映ったものを脳で判断するため同じものでも人によって見え方が違います。右の絵は有名なだまし絵、あるいは隠し絵と呼ばれる多義図形です。みなさんにはどう見えますか？

1つ目は「左奥を見ている若い女性の後ろ姿」、2つ目は「左方向を見ている老婆」それぞれ人が思い込んだ方が見えます。みなさんの脳がそれぞれ判断します。このように目に映るものは、あいまいで目に見えていることだけでは、真実は見えないこともあります。そのため、見えているものを心で捉えることが大切だと私は思っています。



私たち学校の取り組みも同じです。見えないところに気づくと、大切なものが見えてきます。これからのさまざまな取り組みにおいて、頑張る仲間目に見えない、願いや想いを理解できるよう、心の目を見開いてください。頑張る仲間をお互いに認め合い、自分も共に頑張る。そんな岐阜北高校生が素敵だなと私は思います。

あなたはごどう思いますか？